

『バスケ部元気娘は、おじサーの中出し姫♪』

【キャラ】

及川 真鈴（おいかわ まりん）

高校3年生17才 91-59-93（Gカップ）

女子校の元バスケ部主将。

健康的で豊満なスタイルと愛くるしい顔立ちの持ち主。

かなりレベル高めの美少女だが、女子校育ちのため、同年代の男性に免疫がなく、自分に自信が無い。

そこを狙われ、悪いおじさん達に目を付けられる。

やや妄想癖ありで、本当は甘えんぼ体質。

【各チャプター】

1. プロローグ(3分21秒)
2. 更衣室で着替えを覗かれて(5分48秒)
3. 露出プレイで発情して...(5分6秒)
4. ファーストキスはおじさん全員との8人連続ベロチュー(8分53秒)
5. 新品J●マンコvsおじさんチンポ8本(18分14秒)
6. おじさん8人とラブラブ乱交(14分3秒)

【チャプター 1】

アタシは、及川真鈴（おいかわ まりん）17才の高校三年生です。

もうすぐ高校も卒業で...3年間打ち込んだバスケとも、これでお別れ...

一応、大学からはバスケで推薦もらってるから、進学しても部活を続ける予定です。

けど...チームメイトも替わるし、就活とかもあるだろうし、多分今までみたいにバスケにのめり込んで、人生のすべてを賭けて...っていうようにはいかないんだと、思ってます。

だから夏の大会が終わって、部活を引退してからは、燃え尽き症候群というか...

学校と家の往復だけのなんだかむなしい毎日の繰り返しで、心にポツカリあいた穴をどうやって埋めようかな、とずっと考えていました。

だからこそ、バイト先のおじさん達とこんな関係になってしまったのも、当然のなりゆきだったと、言えるのかもしれませんが...

.....

今日は学校終わった後、いつものスーパーでバイト。

部活を引退したあと...やることなさ過ぎて適当に始めたこのバイトだけど...正直、超気に入ってる。

時給はそれなりだけど、同僚の...というか先輩で上司のおじさん達が、めちゃめちゃ良い人たちばかりだから、正直、今は学校よりもバイトの方が楽しいです。

地元のスーパーだからけっこう規模は小さい。

アタシ以外に従業員はバイト含めて、8人。

8人全員、ハゲたおじさんしかいない。（笑）

でも、みんな、いつも超良くしてくれています。

アタシがミスしても、ぜんぜん怒らないし、ご飯もごちそうしてくれるし...おじさん達は、はっきりいってめっちゃ神です。

もう、ほぼ毎日シフト入ってる状態。

アタシとしても、同年代の男子よりもおじさん達という方が、気が楽だし....

同じ高校生の男子たちって、正直...なんだか何考えてるか、わからない感じ。

ずっと女子校育ちで...それに、アタシみたいなガサツな女...男子たちからしたら、全然かわいくないだろうし...

ちょっと苦手。いや、かなり苦手です。

その点、おじさん達といると、全然気を遣わないから、めちゃ楽。

みんな、動物みたいからだからかな？あははっ。（笑）

.....

あと、それに.....

.....

【チャプター２】

「こんにちはーっ！今日もよろしくお願いしまーすっ」

いつもの放課後。

アタシは、いつものスーパーに出勤。

おじさん達は、みんな優しく、挨拶を返してくれる。

毎日、アタシが来る頃には、おじさん達はみんな出勤してる。

アタシが一番最後。

スーパーの裏にある、従業員の事務所。

おじさん達に挨拶してから、アタシは事務所に向かう。

事務所の中の、簡易的な更衣室。

プラスチックの衝立の、手作りの更衣室。

まあ、更衣室というほど立派なものじゃないけど...女の子はアタシ1人だしね。

正直、かなりスキマだらけ。

そして...バイト初日から気付いてるけど....

アタシが更衣室に入ると、事務所が一気に静かになって...

...更衣室の周りにみんなが集まる気配がする...

たぶん...というか、ゼッタイ、おじさん達みんなで覗いてるんだと、思う。

ハアハア言ってる声が、ちょっと聞こえてくるし...

なんで、アタシなんかのカラダが見たいんだろうって、ちょっと不思議だったけど...

たぶん、おじさん達も、女の子とぜんぜん縁が無くて、モンモンとしてるんだろうなあ...と思って...

アタシは、これまでの人生で、異性に求められることなんて全然なかったから...

おじさん達からの視線もなんだかチヤホヤされてるみたいで...

それが、アタシ個人に対しての想いとか、恋愛感情とかじゃなくて...アタシのカラダにだけ向けられた興味だったとしても...

制服のリボンを外して、シャツのボタンを外していく...

それだけで、更衣室の外から「ごくんっ」て...ツバを飲む音が聞こえてきて...

おじさん達が興奮してるのが、衝立ごしから伝わってきて...アタシもなんだか、ドキドキしてくる。

アタシは、ちょっとぼわんとした気分になって、そして、その気分のまま、スカートのホックに手を掛けていく。

今日の下着は、ピンクのサテンで、ちょっとエロいやつ。

バイト始める前は、黒とかグレーの色気の無いスポブラしかつけてなかったけど...

おじさん達に見られることがわかってからは...こんな下着も買ってつけるようになってしまった。

まるで、彼氏のために勝負下着つけてくる女の子みたいに...

アタシがスカートを脱いで下着姿になると、衝立の向こうから、「ハアーっ」ていうため息が聞こえた。

アタシは脱いだ制服をゆっくり畳んでから...狭い更衣室の中で、ちょっとストレッチをする。

じっくりと時間をかけて...全身をほぐしていく。

...おじさん達が、アタシのカラダをじっくり見れるように。

自分で言うのもなんだけど、アタシのカラダは、けっこうすごいんじゃないかと、思う。

たまに雑誌のグラビアとかに載ってる水着の女の子みたいに寄せてあげなくても、谷間なんてできるし、むしろ最近は、合うブラが少ないくらい...おっぱいは大きいほうだ。

クラスでも...いや、たぶん学校で一番大きいと思う。

バスケ部の後輩からも、よくカラダを褒められたし。

「先輩のカラダ、ハンパないっす！」とか「エロ過ぎて、女なのに勃起しそうです」とか(笑)

お腹もくびれてるし、お尻も大きくて、カタチいいし...

でも、性格がこんなだから、彼氏もできないんだろうな...

ふう。

ため息をついてから、アタシはゆっくりとバイトの制服に袖を通す。

おじさん達から、ちゃんと全身隈なく見えるように、気を遣いながら...

...

制服に袖を通し終わると、衝立の向こう側の人の気配も消える。

たぶん、おじさん達も仕事場に戻っていったのだろう。

アタシも、更衣室を出て、事務所のドアを開けて、いつもみたいに、何事もなかったように、挨拶をする。

「それじゃ、今日も、よろしくおねがいしまーっす！」

【チャプター3】

「キャンペーンガール...ですか？」

ある日。店長からいきなり渡された、いつもの制服じゃない衣装。

キャンペーンガールの服らしいけど...これ...かなり、きわどい。

学校の制服のスカートも、結構短めにしてるけど...これはそんなレベルじゃなくて、もう普通に立ってるだけでパンツが見えちゃいそうな短さで...

というか、生地も真っ白な上に薄くて...かなり透けちゃいそう。

衣装を手に持って、見ただけで、かなり危険な服なのはわかってたけど...

おじさん達がみんなして、

「真鈴ちゃんのキャンペーンガール、かわいいだろうなあ」

とか、

「このアイドルだもんね。真鈴ちゃんは...」

って嬉しくなるようなこと言うから...なんだか着なきゃかわいそうかなって...

というか、それ以上におじさん達のギラギラした視線の圧力がすごくて...

なんだか頭がボーっとしてきて...

アタシは...

「はい...わかりました。しょうがないなあ...今日一日だけですよ？」

って、答えちゃいました...。

...

更衣室に持って行って、改めて着てみると、衣装はやっぱりすごい、きわどかった。

胸なんて、上半分がほとんど見えてるし、スカートもスゴイ短いし、それ以前に生地が薄すぎて下着がスケスケで.....ピンクのパンツがめっちゃめっちゃ透けてて...ほぼ半分、下着姿みたいな感じ...でした...。

...アタシがその格好で、更衣室から出てきたときのおじさん達の雰囲気はものすごかったです。

もうみんな目が血走ってて、一步間違えたら...この場ですぐにでもグチャグチャにされちゃうんじゃないかと、思いました。

アタシも着替えただけで、すごくカラダが火照ってて...ちゃんと働けるのかどうか心配だったけど...一応、レジには出てみました...

.....

その日のお客さんは、やっぱりすごかったです。

特に男のお客さんがたくさんいて...

どっかの高校の男子とかも来てたから...

もしかしたら、明日から学校でウワサになっちゃうかも...

半日ずっとレジにいて、色んな男の人から見られて...

ウチのスーパーは小さいから、レジの後ろはガラス張りで、外から見えるようになってるんですけど...

外からも色んなおじさんが、アタシのミニスカのお尻と足を見てきました。

お客さんにお辞儀する時、店長が、もっと深々と頭を下げなさいって.....レジの机にあたるぐらい、って...

そういう丁寧なお辞儀をすると、スカートがずり上がって、丸見えになっちゃうから...多分、何時間も外からパンツ丸見えのまま.....働いてました。

そして、お辞儀をすると前かがみになるから、お客さんは胸の谷間をめちゃめちゃ見てきて...

前からも後ろからも痛いぐらい視線を感じて...めちゃめちゃ興奮してきて.....

そのまま、閉店時間の夜になって...

顔を真っ赤にしたアタシが、一日中バイトした汗で蒸れたいやらしい恰好で事務所に戻った時には...

もうおじさん達の方も、すごい雰囲気になってて...

アタシも、一日中、お客さんからのいやらしい視線に晒されてて...

もう...カラダ中アツくて.....わけわかんなくなってたから.....そのまま.....

.....

「...あ、もしもし、お母さん? ...うん。...あの...今日はちょっと帰れないかも...友達のとこに泊まってくから...うん...ごめん」

.....

【チャプター４】

「んっ♡んちゅっ...♡んぶっ...♡ちゅっ、ちゅっ...♡れろれおっれろれろれろ...♡ちゅ、ちゅぶっ...♡ふう...♡」

まず、店長が、アタシのクチビルをいきなり奪いました。

そして、品出し担当の佐藤さんが、アタシの太ももの内側をさすり始めて、手をそのまま上に持ってきて、スカートの中に入れてきました...

佐藤さんは、「今日の真鈴ちゃんの恰好、本当セクシーだよ...エロ過ぎて、ずっと勃起してたよ...」って言いました。

事務所の中はもう、熱気でムンムンしてて...店長のクチビルが離れると...そのまま、今度は佐藤さんがキスをしてきました。

「んっ♡んちゅっ...♡んぶっ...♡ちゅっ、ちゅっ...♡れろれおっれろれろれろ...♡ちゅ、ちゅぶっ...♡ふう...♡」

佐藤さんとのチューが終わったら、今度は、谷さん、その次は.....どんどん、入れ替わり立ち替わりおじさん達が、先を争うようにみんな、アタシの前に来て...

そのまま、おじさん8人全員と、キスしました。

全部ディープキスでした。ベロチューっていうらしいです。

おじさん達との初めてのベロチューは、すっごく気持ちよくって...アタシは一瞬でへっへっの腰砕けになってしまいました。

アタシは思わず心の底から、「も、もっとキスしたいよう...♡キスう...もっとするう...♡」って、おじさん達におねだりしちゃいました...♡

...

まず、在庫の管理担当の亀井さんが、アタシのチューブトップをブラゴと剥ぎ取って、おっぱいが丸出しになりました。

アタシのおっぱいを見て、みんな「おおお〜！」って驚いてて、なんだかちょっと誇らしかったです。

次に、クレーム処理担当の吉田さんが、スカートを足首までずり下ろしました。

アタシは、おじさん達の手ですぐにパンツ一枚だけの恰好にされてしまいました。

おじさん達は、「まりんちゃんのカラダ、本当にすごいね...」とか、言ってきました。

アタシは正直、「いつもこっそり見てるくせに...」と思いましたが...でもやっぱり、カラダを褒められるのは嬉しかったです。

おじさん達は、アタシのカラダを撫でまわしながら.....すっごい褒めてきます

副店長の高橋さんは、後ろからアタシの両方のおっぱいを楽しみながら、「まりんちゃんのおっぱいはすっごくおおきいね。大きいだけでなく、カタチもいいし、やわらかいののにハリがあって揉み心地がいい。中にたっぷり詰まってる証拠だね」...っていう風に、アタシのおっぱいを褒めてくれます。

そして、店長が右手でアタシのお尻をこねまわしながら、左手でアソコを優しく手のひらで撫でまわして、「ここもスゴイよ。お尻もおっきくてプリプリだし、アソコもすっごいアツくなってる。まりんちゃんも、興奮してるんだね」って、耳元で囁きます。

アタシは、褒めてくれるたびにおじさん達に、お礼のベロチューをします。

「ん...高橋さん、ありがとう...アタシのおっぱい、ずっと見てたもんね...今日から、好きに
していいんだよ...んちゅっ♡べろべろっ♡...ちゅっ♡ちゅばっ♡ちゅむっ...♡れろれろれろ
れろ...♡」

「店長も...いつもありがとう。アタシが間違えたときとかも、優しくしてくれて...恋人みた
いなキスしょ...?ちゅぶっ♡ちゅむっ...れろっ♡んぐっ♡べろべろっ♡べろべろっ♡ちゅ
むっ♡ちゅばっ♡はあ...♡」

おじさん達と、いっぱい舌を絡めるベロチューをします。

高橋さんと店長とベロチューした後は、亀井さんと吉田さんと谷さんと鈴木さんと西山さん
と佐藤さんと...順番に全員とベロチューして...

「ちゅぶっ♡ちゅむっ...れろっ♡んぐっ♡べろべろっ♡べろべろっ♡ちゅむっ♡ちゅばっ♡
んちゅっ♡べろべろっ♡...ちゅっ♡ちゅばっ♡ちゅむっ...♡れろれろれろれろ...♡ちゅぶっ
♡ちゅむっ...れろっ♡んぐっ♡べろべろっ♡べろべろっ♡ちゅむっ♡ちゅばっ♡んちゅっ♡
べろべろっ♡...ちゅっ♡ちゅばっ♡ちゅむっ...♡れろれろれろれろ...♡」(長々とディーブ
キス)

8人全員と、8回分のファーストキスをして、アタシはもう、メロメロになってしまいました。

誰かの手で、アタシのピンク色のパンツが下ろされて、アタシは完全に裸になりました。

パンツが下ろされる時に、クロッチの部分から糸がネトーーッて引いて...おじさん達が口々
に、「すごい濡れてるよ」とか、「もうビショビショになってる。これからもっと気持ち
よくなろうね」とか、「今日から大人の仲間入りだね。おじさん達が教えてあげるからね」
とか言ってきて、すごい恥ずかしかったです。

アタシは、おじさん達のいやらしい手つきと、おじさんの加齢臭に囲まれて...なんだかもう
心臓がドキドキバクバクしてきて...

優しいおじさん達に、囲まれた感じが...なんだか小さい頃の町内会のお祭りを思い出しちゃ
いました。

アタシも子どもに戻ったような気分になってきて...こう言っちゃいました。

「うん...真鈴は、エッチなことなんにも知らない女の子だから...おじさん達、これからいっ
ぱい教えてね。真鈴にいっぱいエッチなことしてね♡真鈴も、おじさん達にたくさんエッチ
なこと、してあげたい♡真鈴のこと...この町で一番エッチな女の子にしてください!♡」

【チャプター5】

おじさん達も、みんな服を抜いで裸になりました。

「す、すごい...♡おじさん達のアソコって、そんな風になってるんだ...!♡」

初めて見る、男の人のモノ。

それも、一気に8本も...。

頭がクラクラしてきて、もうなにも考えられません。

「ど...どれが...最初なのかな...?♡」

おじさん達はジャンケンを始めました。

一番になったのは、店長でした。

店長はめちゃめちゃうれしそうにして...真鈴に近づいてきました。

「うん...わかった...。店長...真鈴、初めてだから...やさしくしてね...♡」

クッションとかを並べて、ベッドを作って...店長と一緒にそこに抱き合いながら倒れ込みました。

「ちゅぶっ♡ちゅむっ...れろっ♡んぐっ♡べろべろっ♡べろべろっ♡ちゅむっ♡ちゅばっ♡んちゅっ♡べろべろっ♡...ちゅっ♡ちゅばっ♡ちゅむっ...♡れろれろれろれろ...♡」
(ディープキス)

これから、同僚のおじさん達みんなに見られながら...店長としちゃうんだって思うと、頭がどうにかなりそうで...恥ずかしさをごまかすために、自分から思いっきりベロチューをしてしまいます。

「ちゅぶっ♡ちゅむっ...れろっ♡んぐっ♡べろべろっ♡べろべろっ♡ちゅむっ♡ちゅばっ♡んちゅっ♡べろべろっ♡...ちゅっ♡ちゅばっ♡ちゅむっ...♡れろれろれろれろ...♡」
(ディープキス)

店長とベロチューしていると...この人が真鈴の初めての人になるんだって...この人に大人の女にされちゃうんだって...真鈴の、女の子にとって一番大切なモノを捧げるんだって...思えてきて、胸がキュンキュンしてきて、自然と舌が激しく動きます。

たぶんあの時が、真鈴の初恋だったんだと思います。

店長は、初めてでよくわからない真鈴の舌をやさしく舐めまわして、自分の舌と絡めてくれて...全身がとろけちゃうようなベロチューをしてくれました。

お父さんと同じくらいの年齢だけど...お父さんよりも全然カッコよくないただのおじさんだけど.....正直、その時の真鈴には、世界で一番イケメンに見えました。

店長が、「入れるよ、真鈴ちゃん、入れるよ、いいね?」って、めちゃめちゃに興奮した声で囁いてくるから、真鈴も「うん...♡真鈴の初めて...店長にあげるね...♡その代わり...真鈴のこと、ずっとずっと守ってね♡...一生幸せにしてね...♡」って...まるで、プロポーズされた時の返事みたいなことを、言ってしまいました...

....。

店長は、真鈴の言葉を聞いて、すごく嬉しそうにニヤーって笑うと、ついに、真鈴の中に、入ってきた....。

お腹の下の方から、「めりっ」って音がして...真鈴は「あっ！！！！♡」...って叫んじゃいました。

その瞬間は、もう本当に、一瞬の出来事で....。

店長の太いのが、「めりめりめりめりっ！」て、一気に奥まで入ってきて...真鈴は、その瞬間に、もう処女じゃなくなりました....。

入った瞬間は結構痛くって...店長に「店長...イタイよお...」って言いました。すると、店長は、「すぐに気持ち良くなるから、大丈夫」って....。

店長の優しい声に安心して、店長のことがますます好きになっちゃって...また、真鈴の方から、キスをしました。

「ちゅぶっ♡ちゅむっ...れろっ♡んぐっ♡べろべろっ♡べろべろっ♡ちゅむっ♡ちゅばっ♡んちゅっ♡べろべろっ♡...ちゅっ♡ちゅばっ♡ちゅむっ...♡れろれろれろれろ...♡」
(ディープキス)

店長とベロチューしてると、なんだか腰の痛みが治まって、逆にむしろ中がアツくなってジンジンしてきて...むずがゆくなってきました。

だから真鈴は、「店長、動かないの...？」って...そう訊くと店長はまたニヤーって笑って、「今動いてあげるからね」って言ってきました。

...

店長が動き始めると、繋がってる部分から、グチュッ、グチュッ、ていう音が響いてきて...お腹の感触よりも、まずその音にクラクラしました。

今、本当に、店長とセックスしちゃってるんだ、店長に初めてあげちゃったんだ...っていう想いがこみ上げてきて、なんだか切なくて...またベロチューしたくなりました。

店長は、ハアハア言いながら真鈴のアソコをグチャグチャかき回します。

店長が腰を動かすたびに店長のぽよぽよしたお腹のお肉が、真鈴のお腹に当たります。

その光景を見ながら、グチャグチャしたアソコの音を聴いてると...真鈴もなんだか変な気分になってきて.....痛みなんかどっか行っちゃって...とにかく店長とベロチューしたくてたまらなくなりました。

「ちゅぶっ♡ちゅむっ...れろっ♡んぐっ♡べろべろっ♡べろべろっ♡ちゅむっ♡ちゅばっ♡んちゅっ♡べろべろっ♡...ちゅっ♡ちゅばっ♡ちゅむっ...♡れろれろれろれろ...♡」

もう恋人同士のセックスにしか見えなかったと思います。いや、初恋の人とのセックスだから、その通りなんだけど…。

周りのおじさん達は、「真鈴ちゃん、えろーい」とか、「早く替われよー！」とか言ってました。自分で、自分のをゴシゴシさすってる人もいました。

店長とのベロチューしながらのセックスは本当にヤバくて、初めてなのにもうメチャクチャ気持ち良かったです。

店長が甘えた声で、「真鈴ちゃん、俺の事好きって言って」って、顔を目の前に近づけて言うから、真鈴も…「店長、好きっ！♡ちゅっ、ちゅむっ♡好きっ、好きっ！♡あゝっ！♡あっ店長、好き！♡真鈴ともっとチューしよっ！♡んちゅっ♡んちゅっ…♡れろれろれろれろ…♡あぁっ！！♡店長っ！♡好きい！！♡」ってベロチューしながら大声で店長のこゝと好きって叫んでました。

5分くらい、そんな感じで2人でグチャグチャになってたと思います。

…。

店長がイク瞬間は、突然でした。

店長がいきなり無表情になって、真鈴の肩をチカラいっぱい掴んで、カラダを押しつぶすみたいに、思い切り体重をかけてきました。

顔はすっごいだらしないのに、全身にチカラが入ってて…店長がメチャクチャ気持ちよくなってるのが伝わってきました。

そして……真鈴のお腹の中の、一番奥で店長のがぷっくり膨らんで…「あ、店長イクんだ。いま逝くんだ」っていうのがわかりました。

そして、そのままドクンッ！！ドクンッ！！って…爆発しました。

「あゝっ！！♡、でっ、出てるっ！♡あゝっ！？店長のが、真鈴のお腹の中で出てるっ！♡あああっ！！なっ、なんか来るっ！？真鈴にもなんか来るよっ！なんか来ちゃうよっ！」

…

副店長が「真鈴ちゃんもイク時は、ちゃんと『イク』って言いなさい」って命令するから、真鈴は、

「い、イクっ！♡逝きますっ！♡真鈴も一緒にイクっ！店長と一緒にイクっ！！♡思いっきり気持ち良くなるっ！♡♡♡」

って…叫びながら思い切りイっちゃいました。

はっきり言って、めっちゃめっちゃ気持ち良くて……学校のことも、バイトも、大学も、一瞬で全部どうでもよくなって……

多分、店長は独身だから...真鈴を妊娠させて、自分のモノにしたかったんだと思います。

だから、真鈴のお腹の、一番奥に出されました。

真鈴も、初めて中出しされた時は気持ちよすぎて...店長の子どもを妊娠したい！...っていうことしか考えてませんでした。

...

店長のぽよぽよのお腹がベコンっへこむたびに、中のおちんちんがぶくっ！て膨らんでから、ドクンっ！って破裂して...店長の精液がビュルビュル真鈴のお腹の奥にぶちまけられて、叩きつけられました。

ドビュッ！って出されたあとに、お腹の隅々まで「ジワーーっ...」って精液広がって...女の子の大事なところの内側に染み込んでいて...

店長が真鈴を妊娠させたい、っていう想いが、すごく伝わってきて、真鈴も一緒にイっちゃいました...。

.....

結局、初めてをあげた日に、そのまま8人のおじさん達全員とエッチしました。

3人目の谷さんとする頃には、真鈴も、もうセックスに病みつきになっちゃって...

谷さんにしがみつकिながら、「またイクっ！いくっ、いくっ、いくっ、いくっ、いくっ♡いくーっ！！♡真鈴も一緒にいくーっ！！♡♡ああああ~~~~っ！！♡♡♡」（幼い感じの演技でお願いします<(_ _)>）って、事務所どころか店内にまで響くくらい、思いっきり叫んじゃって...

我に返ったらおじさん達がアハハハ...って笑いながら見てて...すっっっっごい、恥ずかしかった...。

正直、5人目の亀井さんくらいから、もう頭の中は、真っピンクになっていて...なにも考えてなかったです。

おじさん達の腰が動いて、真鈴のお腹の中をズンズンかき回すたびにイっちゃって...もう何を叫んだかも覚えてません。

いっぱいベロチューしたことだけは覚えてます。

7人目の佐藤さんとする頃には、もう気持ち良くなることしか考えてなくて...

ただただ佐藤さんとベロチューしながら、「佐藤さん大好き♡」とか言ったり、「真鈴のこと愛してる？♡」とか聞いたり、ボーっとしながらずーっといイやらしいことばかり言ってました。

佐藤さんもすごい興奮して「真鈴ちゃんの中、気持ちよすぎ！」って叫んで...中出ししてくれました。

おじさん達みんなすごい気持ちよさそうな顔してて、その顔がすごく可愛くて...みんな彼氏にしちゃいたいな...って思いました。

最後の8人目の副店長が真鈴の中に出し終わったあとに、みんなで集合写真を撮りました。

8回分のおじさん達の性欲のお汁で、真鈴のお腹はもうたぷたぷになってました。

一応、終わった後は...本当に妊娠しちゃったらどうしよう...とか、ぼんやり思えてきて...赤ちゃんできたら、結婚しなきゃとか、おじさん達の誰がパパなんだろう、とか...いっそのこと、おじさん達みんなと一緒に住めば、毎日みんなとエッチできるな、って考えてました。

そんなこと考えると...また変な気分になってきて...また、店長が覆いかぶさってきたから、また、ベロチューしました。

その日は...家に帰れなくて...店長のお家に泊めさせてもらいました。

朝まで店長がしがみついてくるから...あんまり寝れなかったけど。

【チャプター6】

もう今では、毎日おじさん達と会ってます。

.....

おはー...おじさん達、元気ー？

うあー...部屋の中、加齢臭くさーい(笑)

って.....もうみんなガッチガチになってるし...

めんどくさいなー...もー...♡

8人分も.....8本もこすったり...なめたり...中でゴシゴシするの...大変なんだよ？

んっ...♡（いきなりスカートの中に手を入れられる）

い、いきなり大事なところいじっちゃダメえっ...！♡

わ、わかったからあ...♡がっつかないで...♡いま着替えてくるから...♡

...

じゃーん...着替えてきたよ...♡

どう、これ...？

真鈴ちゃんエロすぎ、って...おじさん達を選んだんじゃん...

こんな金ピカの小さいビキニ...真鈴ひとりじゃゼットイ買えないよ、こんなの...

いやらしいし...めっちゃめっちゃ派手だし...スケベー...

ってというか真鈴、男の人にこんな近くで水着見られたの、初めてかも...

え？

「裸ならいつも見てるから大丈夫」、だって？

もー！（怒）

見たどころか、いつも撮影までしてんじゃん！

この前だって、足広げさせて、「自分でマンコ広げて」って命令までして...一番奥まで撮影してたくせに...

しかも真鈴にピースまでさせて、自己紹介するところまで撮影させて...

もう、誰にも見せないでよね...ネットにバラまかれたりしたら、真鈴の人生おしまいなんだから...♡

一応、バスケで大学の推薦もらってるんだよ？

も、もし...あの動画バラまかれて、クラスのみんなに知られたりしたら...お母さんとかお姉ちゃんに見られたりしたら...そ、それで学校で...先生に呼び出されて...（妄想入ります。）

先生から、「及川、なんなんだこの動画は？」って...「先生にも見せてみなさい。個人指導だ」って...言われて...♡

そ、そのまま...生徒指導室で...ぐ、グチャグチャにされたりしたら...♡♡

あ、あ、あ.....ぬ、濡れてきちゃった...♡

ね、ねえ...早くしよ...しようよお...♡じらさないで...もったいぶらないでさあ...♡

（股ぐらに手を入れられる）

もう...がっつかないでってばあ...♡

ひとりずつ、順番だから...♡

え、キス...♡...いいよ...♡

みんな、真鈴とベロチュー中出ししてくれるまで、お家に帰さないんだもんねー、だ...♡

んっ♡

ちゅっ、ちゅぶっ、れろっ、れおれろ♡、ちゅばっ、ちゅむっ、れろれろれろ...♡

あっ...ちよっ、ちよっとお...今日も撮影するの...？

だっ、ダメだよ...！恥ずかしいし...最近、えっちがホントに気持ちよすぎて...おかしくなっちゃうから...この前だって失神しちゃったし...なに言ってるかも覚えてないし...

恥ずかしいよ...

...

え、ええー...そ、そんなにおねだりされてもダメだよ...

さ、三脚まで買ったんだ.....

はあ...。なんでそんなに撮るのが好きかなあ...

真鈴のカラダ、そんなにすごい...？♡

...。

え？

ま、真鈴、そんなにかわいい...？

そ、そうなの...？

ええー...どうしよう...

...はっ！

だっ、ダメダメっ！やっぱりダメッ！

やっぱりえっちしながら撮影するなんておかしいよっ...ま、まるで真鈴がA Vの女優さんみたいじゃん...！

うん。やっぱり撮影はダメ...。んむっ！？♡んちゅっ、（おじさんからのキスの不意打ちにすぐに舌を絡めて応えてしまう）れろれろれろ...♡んちゅっ、ちゅぶっ♡んちゅっ、ちゅっ...♡

ぶは...♡

...

も、もー...♡

ま、真鈴のこと、そんなに好きなの...♡

もー...♡

しょうがないなあ...

今日で最後だからね...？

....。

うん...言われた通り毎日飲んでるよ...

だから...ふう...ふう...♡今日も...ふう...いっぱい真鈴のお腹の中に出していいからね...

ねえ...しよ...？はやくう...♡

んっ！？♡

谷さん...真鈴とキスしたいの？

ほんと、真鈴のペロチュー、大好きだよね...

そんなにしたいの...？

ふふ...(笑)いいよお...♡

んちゅっ、ちゅぶっ、れろれろれろれろれろ...♡

ぷはっ！♡

あっ♡

鈴木さあん...おっぱい独り占めしちゃダメえ...みんなのものなんだから...

んあっ♡

佐藤さんってば...本当にお尻好きだよね...♡

きゃっ！♡

吉田さあん...いきなり耳舐めちゃだめだよ...そんなに美味しいの...？♡

ひっ！♡

亀井さんー...♡赤ちゃんみたいに真鈴の乳首吸っちゃダメえ...♡

ふわあっ！？♡

高橋さぁん...いきなりアソコほじくっちゃだめだよ...♡

あっ！？♡だめっ...アソコ激しくしちゃダメっ！♡

ん...？西山さんもキスしたいの...？

もぉ、またキス...？

もちろん、いいに決まってるけど...♡

んちゅっ、ちゅぶっ、れろれろれろれろれろ...♡

ぷは...♡

はぁ...♡気持ちいいよぉ...♡

ん...店長...？

...舐めてほしいの？

...いいよぉ...♡

店長のおチンチンどーこだ...？

...見つけたぁ♡

いただきまーす.....ぱくっ♡んっ...じゅっぽじゅっぽじゅっぽじゅっぽ...ぺろぺろれろれろ
えろえろ...♡♡♡

じゅっぽ、ぺろ...ん...♡ぷは、店長の...あつうい...♡じゅっぽ、じゅっぽ...♡

ん...ちゅぱっ♡真鈴は...ちゅっ♡こんな風に、ちゅっ♡四つん這いで...おじさんのお股の間に、ちゅぶっ♡もぐり込んで...ちゅぱっ、ぺろっ♡ワンワンみたいに、ちゅっ♡舐めるの好きです...♡ちゅっ...♡ちゅっ...♡

ん...え...？（いきなり後ろから腰を掴まれる）

あっ、ダメっ、いま入れちゃダメっ...！♡

ああああーっ！！！！♡♡♡

...あっ...は...はぁ...あ...はぁ...はぁ...♡

い、いきなり、入れるの、なしい...♡い...いつちゃったじゃぁん...♡も、もぉ...反則だよ...い、いきなり入れられたら...い、いくに決まってるじゃぁん...♡

あっ、だっ、ダメっ！動いちゃダメっ！♡いま、舐めてるからっ！♡いま店長の舐めてるからあ！♡後ろから動いちゃダメえ！

んちゅっ、ぺロっ、ちゅばっ、じゅっぽっ♡♡♡

ぷはっ！♡あっ、ダメっ！いま店長のおちんちんに集中してるのっ！♡じゅっぽ、ぺろっ...♡

...♡...

あっ、ダメ、乳首、ダメっ！あっ、あっ！♡あっ耳舐めちゃいやあっ！♡あっ、うああっ！お尻の穴ほじくらないでえっ！♡あああっ！ああああっ！♡入れながらクリいじるのダメっ！すごいからだめえっ！！♡（だんだんとのぼり詰めていく）

いっ、いっ...いくっ！いっちゃうっ！いくっ！いっちゃうよっ！真鈴、いくっ！い、いきますっ！♡後ろからで、四つん這いで、イっちゃいます！♡んちゅっ！♡店長のおちんちんとぺロチューしながら、い、いくっ！♡いくいくっ！いくよっ！いっちゃうよおっ！もうだめえええっ！！いくっ...！うっ、うっ ああああああーっ！！♡♡♡

.....

こんな風に毎日、おじさん達のを、お腹の中の一番奥で、たっっっっっぷり受け止めてます。

もう毎日してるから、最近はずっと...おじさん達のお汁がお腹の中に残ってる感じで...頭の中まで、ドロドロしてます。

でも、部活をやってた時とはちょっと違うけど...すごい充実してる感じ、楽しいです。

誰かに...男の人に、こんな風に必要とされたことって、今までなかったから...

おじさん達が気持ちよくなってるのを見ると、すっごく嬉しいです。

このスーパーでバイトを始めたのも、運命だと思ってます。

ただ...今は、卒業した後の進路について、少し迷ってます。

大学に進学するか...それとも...このままバイトを続けて...おじさん達のペットとして生きていくか...

たぶん...おじさん達のペットとして飼われちゃったほうが...幸せなんじゃないかなっ...て思ってます....

以上です....

いまの真鈴の生活は、こんな感じです。

ご清聴、ありがとうございました。